

**製品名: 代謝型グルタミン酸受容体 5 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86676**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,FC 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:132 kDa; Observed MW:150,300 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Metabotropic Glutamate Receptor 5
別名	mGlu5; GPRC1E; MGLUR5; PPP1R86
遺伝子 ID	2915
SwissProt ID	P41594
免疫原	ヒト代謝型グルタミン酸受容体 5 の合成ペプチド

**背景**

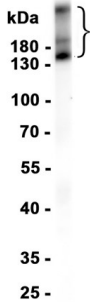
この遺伝子は、G タンパク質共役受容体 3 タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は代

代謝型グルタミン酸受容体であり、そのシグナル伝達はホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化します。このタンパク質は、神経ネットワーク活動とシナプス可塑性の調節に関与している可能性があります。グルタミン酸作動性神経伝達は、正常な脳機能のほとんどの側面に関与しており、多くの神経病理学的状態において障害を受ける可能性があります。この遺伝子の偽遺伝子は 11 番染色体上に定義されています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 5 月]

## 研究分野

## 画像データ

Mouse brain



代謝型グルタミン酸受容体 5 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。